



《将来に向けた取組方針》

カルビーグループは、「私たちは、自然の恵みを大切に活かし、おいしさと楽しさを創造して、人々の健やかなくらしに貢献します。」という企業理念のもと「カルビーグループ行動規範」を掲げています。ステークホルダーとの共創によって自然の恵みを活かした新たな価値を提供し、持続可能な社会の実現を目指します。

生物多様性の保全については「カルビーグループ環境ポリシー」に以下の内容を記載し、生物多様性の保全について活動しています。

- ・ 5. 生物多様性の保全：自然の恵みに依存する企業として、生物多様性の保全と再生の取り組みを進めます。

〈具体的取組み事例〉

■ 持続可能な原材料調達（認証パーム油使用拡大）

カルビーグループでは生物多様性に関連する目標として、環境や人権に配慮した「認証パーム油を2030年までに100%使用」とする目標を掲げています。2021年7月から順次国内工場にてマスバランス方式の認証パーム油を導入し、2022年4月には国内全工場でマスバランス方式の認証パーム油に切り替えました。

■ 農業の持続可能性向上

2020年に特定したマテリアリティでは「農業の持続可能性向上」を掲げ、気候変動に強い品種の育成・開発や、さまざまな土質や条件によって違いがある畑の土壌分析を行い、より多くのばれいしょが収穫できる適切な肥料の提案を行いました。

〈今後の課題〉

カルビーグループは『自然』に対してポジティブな方向にシフトするために、2023年9月に公開されたTNFDフレームワーク正式版に合わせて、ロードマップを作成し、開示準備を進めていきます。

気候変動と生物多様性は表裏一体であり、事業活動を通じて気候変動対策だけでなく自然環境の保全に貢献し、企業理念に基づいて自然資本と両立した事業活動を進めてまいります。